

公益財団法人日本バレーボール協会 2014 年度第 2 回理事会(定例) 概要

1 日 時 : 2014 年 6 月 5 日(木) 13 : 55 ~ 16 : 20 分

2 会 場 : 津田ホール T101・102 会議室

3 出席者 :

理事総数 15 名

出席理事 14 名

代表理事

羽牟裕一郎

理事

岩満一臣、大塚慶二郎、岡野貞彦、小野元之、川合正矩、小島和行、下山隆志、
竹内浩、西脇克治、林義治、福本ともみ、村松泰子、山口香

監事総数 3 名

出席監事 2 名

大西浩志、高橋治憲

4 議 長 : 代表理事 羽牟裕一郎

5 決議事項

- (1) 第 4 期 (2014 年度 3 月期) 決算について
- (2) 第 4 期 (2014 年度 3 月期) 事業報告について
- (3) 定時評議員会の開催及び目的事項について
- (4) 臨時評議員会の開催及び目的事項について
- (5) 加盟団体規程の改定について
- (6) 重要な使用人の選任について
- (7) 委員会委員の選任等について

6 議事の経過の要領及びその結果

代表理事が議長席に着き開会を宣し、本理事会は、定款第 41 条に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。

続いて議事録記名押印理事に福本理事を選出。次の議案の審議に入った。

(1) 第 4 期 (2014 年度 3 月期) 決算について

第 4 期 (2014 年 3 月期) 決算について以下の説明がなされ賛否を諮り、これを承認可決し

た。

当期の収入は、事業収入が、1,773,193千円、その内容は協賛金収入846,348千円、入場料収入483,395千円、業務受託料37,347千円などが主なものである。これらに受取メンバー制度登録料189,437千円、補助金等112,674千円、受取交付金19,079千円等を加えると、当期収入合計は2,120,162千円となる。

この結果、税引前当期一般正味財産減少額は9,021千円となり、これに法人税等70千円を計上した当期一般正味財産減少額は9,091千円となった。

【監査報告】

続いて、下記のように監査報告が行われた。

公益財団法人日本バレーボール協会の第4期（2013年4月1日～2014年3月31日）の下記の計算書類について監査したところ、適正かつ公正に処理されており、その内容が事実であることを認める。

- (1) 貸借対照表及び正味財産増減計算書、並びにこれらの付属明細書
- (2) 財産目録

また、理事の業務執行状況について監査したところ、定款第31条の職務を遂行していることを認める。

(2) 第4期(2014年度3月期)事業報告について

第4期（2014年度3月期）事業報告について以下の説明がなされ賛否を諮り、これを承認可決した。

1. 事業の概況

本会は2011年2月に公益財団法人に移行し、第1期が2月～3月の2ヵ月間、第2期は2011年4月～2012年3月、第3期は2012年4月～2013年3月、第4期は2013年4月～2014年3月となる。

当期は6月に理事の改選があり、15名（定数：15名～20名）が選任された。そして新理事会により羽牟代表理事・会長が選任され、業務執行理事についても変更があり、その後、各本部長ならびに委員会委員が選任された。

2013年11月に開催しました各大陸のチャンピオンが戦う、ワールドグランドチャンピオンズカップでは、全日本女子チームがロンドンオリンピックに続き銅メダルを獲得した。更に、次世代を担う若い選手達も、6月にチェコで開催された第17回世界ジュニア女子選手権大会（U-20）において第3回大会以来の銀メダルを獲得、7月にロシアで開催された第27回ユニバーシアード競技大会では男子チームが銅メダルを獲得、10月に

メキシコで開催された第1回世界U-23女子大会において銅メダルを獲得するなど、目覚ましい成果を挙げ、日本国民に夢や勇気、感動をお届けすることができた。

オリンピック終了後、2016年のリオデジャネイロオリンピックに向けて、強化体制の再構築を図ることとなり、強化事業本部長の下、新体制を構築し活動を開始し、眞鍋監督が率いる全日本女子代表チームは次年度イタリアにて開催される世界選手権の出場権を獲得したが、ゲーリー・サトウ監督が率いた全日本男子代表チームは世界選手権の出場権を獲得することが出来なかった。その後、ワールドグランドチャンピオンズカップ等の成績を強化委員会にて慎重審議し、ゲーリー・サトウ監督については、解任を決定した。後任の監督には、強化事業本部の審議に基づく推薦者、あるいは公募による選出をする事となり、理事会にて承認の上、天皇杯やV・プレミアリーグ等で優勝経験のある、パナソニック パンサーズの南部正司監督を迎える事となった。

強化事業本部の組織改正に合わせ、男女それぞれの強化担当ゼネラルマネジャーを配置し、新たに選手発掘から育成までの一貫した強化体制を構築するため、発掘育成委員会を設置した。

また、体罰・暴力の相談窓口を昨年5月15日に開設し、3月末までに70件弱の相談を受け、内容に応じて随時対応をした。

当期決算については、当初予算は34百万円の赤字を見込んでいたが、本会、関係団体、関係者の皆様のご協力を得ながら財政改善に取り組んだ結果、赤字を9百万円まで圧縮し、当初予算より25百万円の改善となった。

当期は引き続き赤字決算となったが、前期の赤字40百万円からは31百万円改善することが出来た。

事業の詳細は資料の記載のとおり。

(3) 定時評議員会の開催及び目的事項について

定時評議員会の開催及び目的事項について以下の説明がなされ賛否を諮り、これを承認可決した。

日 時： 2014年6月24日（火）13：00～15：00

場 所： 東京体育館 第2会議室

決議事項：

(1) 第4期計算書類等の承認の件

第4期2013年4月1日から2014年3月31日までの計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書、財産目録）

の承認を受ける件

報告事項：

(1) 第4期事業報告の件

(4) 臨時評議員会の開催及び目的事項について

臨時評議員会及び目的事項について以下の説明がなされ賛否を諮り、これを承認可決した。

日 時： 2014年6月24日（火）15：30～17：00

場 所： 東京体育館 第2会議室

決議事項：

(1) 評議員会議長選出の件

報告事項：

(1) 第4期計算書類等報告の件

第4期2013年4月1日から2014年3月31日までの計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書、財産目録）の承認を受ける件

(2) 第4期事業報告の件

(5) 加盟団体規程の改定について

加盟団体規程の改定について以下の説明がなされ賛否を諮り、これを承認可決した。

加盟団体の名称変更に伴い、本会の加盟団体規程第2条（加盟団体等）を下線部の通り追加・修正した。

- ・ 一般財団法人神奈川県バレーボール協会
- ・ 日本ビーチバレーボール連盟

(6) 重要な使用人の選任について

重要な使用人の選任について以下の様に諮り、これを承認可決した。

小田 勝美	現役職	強化事業本部副本部長
	新役職	強化事業本部副本部長 兼 男子ゼネラルマネージャー

(7) 委員会委員の選任（新任・退任）について

以下の委員会の委員の選任について賛否を諮り、これを承認可決した。

男子強化委員会、女子強化委員会、発掘育成委員会、メディカル委員会
ビーチバレーボール評議会、ビーチバレーボール強化委員会

7 報告事項

(1) 評議員選任結果について

定款第 16 条（任期）の定めにより、2013 年度に関する定時評議員会（以下「定時評議員会」）の終結をもって 17 名の評議員が任期満了となるため、定款 14 条（評議員）及び 15 条（評議員の選任及び解任）に基づき、2014 年 5 月 8 日に評議員選定委員会を開催した。6 月 24 日に開催される定時評議員会終結以降の次期評議員選任に至るまでの議事経過について評議員選定委員の大西監事より報告が行われた。

（議決結果）

以下の 17 名が評議員選定委員会において、次期評議員として選任された。

梅野實、遠藤俊郎、川合俊一、木高譲、木村憲治、嶋岡健治、田村悦智子、中島茂、
西川友之、福田順一、不老浩二、三屋裕子、柳橋武、山岸英一、山田道人、山本章雄、
了徳寺 健二
（五十音順）

(2) 2014 年度第 1 四半期職務執行報告

法令及び理事会運営規程に基づき、2014 年度第 1 四半期の職務執行報告が、羽牟代表理事及び業務執行理事、強化本部長より行われた。主な報告内容は以下の通りである。

【羽牟代表理事】

- ①事業運営会議出席
- ②FIVB理事会、実行委員会への出席
- ③IOC IF会議への出席
- ④AVC理事会、実行委員会への出席
- ⑤Vプレミアリーグ男女ファイナル視察
- ⑥ACE・JAPAN・PROJECT ミーティング出席

【西脇事務局長 国際事業本部本部長】

- ①評議員改選に関する、各種会議・手続き等
- ②Vリーグ機構との調整会議
- ③黒鷲旗全日本選抜優勝大会開会式挨拶
- ④全日本男子、全日本女子登録選手発表
- ⑤JVA-IT 関連プロジェクト業務
- ⑥FIVBとの契約交渉準備

【岩満業務執行理事 M&M本部本部長】

- ①Vプレミアリーグ男女ファイナル視察
- ②オフィシャルスポンサーへのプロモート活動
- ③日本体育協会との打合せ
- ④JVA情報番組「VOLLEYBALL CHANNEL」内容確認作業
- ⑤肖像権使用に関する管理業務
- ⑥2014年度版ルールブック、JVAバッジ販売

【下山業務執行理事 国内事業本部本部長】

- ①インターハイ開催における東京都教育委員会、
インターハイ事務局への訪問・挨拶
- ②黒鷲旗日本男女選抜バレーボール大会
- ③Vリーグアワードセレモニー出席
- ④会議、打合せ出席
(国内事業本部、指導普及委員会、公認・推薦委員会、
国体ビーチバレーボール関連、中体連JOCカップ等)
- ⑤FIVB Referee Delegate Seminar
- ⑥第5回ヴィンテージ8大会 石垣市長への表敬訪問

【小島業務執行理事】

- ①ビーチバレーボール大会の開催地調整
- ②ビーチバレーボール強化関連
- ③FIVBグランドスラム大会準備
- ④ビーチバレーボール評議会・強化委員会出席
- ⑤事業運営会議に出席
- ⑥JOC等助成事業

【荒木田強化事業本部本部長】

- ①男子強化委員会&ACE・JPN・PROJECT全体ミーティング
- ②V・プレミアリーグ男子・女子決勝視察
- ③TOKYO2020（仮称）候補選手合宿視察
- ④男子記者発表と公開練習
- ⑤女子記者発表
- ⑥シニア女子モントルーバレーマスターズ同行

(3) 表彰等規程に関して

表彰等規程に関して以下の通りに報告が行われた。

本会の表彰等規程における功労者Ⅰの表彰基準は「本会若しくは本会に加盟する全国的に組織されたバレーボール競技団体の役員又は本会の委員会委員及び協力社等の立場から、バレーボールの普及・発展に著しい功績のあった者で、原則として当該関係歴が30年以上ある者。」である。また、表彰の頻度については、5周年毎（周年時当初の理事会のタイミング）となっており、表彰される方々の状況を考慮すると頻度の見直し（1年毎）の必要がある。また、基準となる関係歴の短縮、叙勲者への特別措置等、現在事務局で規程の改定を検討しており、変更する際には理事会にて承認を得る旨の説明がなされた。

(4) 功労者Ⅱ表彰について

岩満業務執行理事から、第5期（2014年度）第2回功労者Ⅱ表彰として下記の方の表彰を行う事が決定したとの報告があった。

○第5期（2014年度）第2回功労者Ⅱ表彰者

岩城 秀行 （京都府バレーボール協会 顧問）

柿元 信一 （鹿児島県バレーボール協会 副会長）

(5) 戦略企画会議からの報告

戦略企画会議より、以下の通り報告が行われた。

「Mission Statement」とは、JVA役員及び事務局員が持つ意識の方向性を統一することに重点を置き、JVA関係者とバレーボール愛好者、応援者に向けJVAのあるべき姿を宣言したものである。他のスポーツでは置き換えることの出来ない、バレーボール競技だからこそ表現出来るメッセージとなるよう、今後は最終的な調整を行い、「Mission Statement」の周知を行なっていく。

(6) その他 報告

- ・国民体育大会における2020年オリンピック対策・実行計画（オリンピック競技種目導入）案について報告があった。

以 上